## 住宅改修が必要な理由書

## <基本情報>

	N 全 不 旧 和 ノ										
利用者	被保険者番号	1111111111	年齢	80歳	生年月日	明治大正昭和	1年	1月	1日	性別	☑男□女
	被保険者 〇〇	00 ΔΔ	要介護認定 (該当にO)		要支援	要介護					
		00 44			1 • 2	1 • 2 • 3 • 4 • 5				5	
	住所	淡路市生穂新島8番地									

	瑪	1地確認日	令和 5年	4月	1日	作成日	令和	5年	4月	5日
作	所属事業所		淡路市包括	支援セ	ンター					
成   者	資格	(作成者が介護 支援専門員で ないとき)								
		氏 名	淡路 包括							
		連絡先	0799-64-251	1		•	•			

## <総合的状況>

	3年前に自宅を出たところ(家と公道の間)にある5cm程度の段差に躓き、転倒。すぐに病院を受診するも、骨折等はなかったが、膝を強く打撲	福祉用具の利用状況と			
	したために、その後も膝関節に痛みが残っており、特に右膝は90度まで曲がらない。その際に初めて介護認定を受け、継続してリハビリを行っ	住宅改修後の想定	改修前	改修後	
   利用者の身体状況	ている。転倒以前のH28頃より、腰に痛みがあり、腰椎脊柱管狭窄症と診断を受けていた。屋外は杖歩行。	●車いす			
11/11 [ 02 23 [ 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10年前より高血圧と診断を受け、服薬中。また、糖尿病で服薬を行っているが、認知症状がないので、自己管理できている。	●特殊寝台			
		●床ずれ防止用具			
		●体位変換器			
	9年前に妻を亡くして、独居。島外に子(娘)がいるが、遠方のため年に数回訪問がある。	●手すり			
	介護のサービスでは、リハビリの半日デイを週に3日利用。(月・水・金)	●スロープ			
介護状況	近くの整形外科や内科の病院に週に1度通う。	●歩行器			
	介護認定の申請も本人がされ、身の回りのことは、時間はかかるが自分で行うことができる。	●歩行補助つえ	$\square$	$\square$	
		●認知症老人徘徊感知機器			
	高血圧で、服薬している薬(利尿剤)の影響で、自宅では頻繁にトイレへ行く。	●移動用リフト			
	①右膝の痛みが強く出るときがあり、便器から立ち上がる際にスムーズにできず困っているので、手すりを設置することで、	●腰掛便座			
	膝への負担を減らし、衣服の着脱も無理なく行えるようにする	●特殊尿器			
	玄関に20cm程度段差がある。	●入浴補助用具	$\square$	$\square$	
	③10cmの段差を越えるための膝の曲げ伸ばしはできるため、踏み台を設置し、段差を解消し、	●簡易浴槽			
住宅改修により、	②縦手すりを持って段差を昇降できるようにする	●その他			
利用者等は日常生活をどう変えたいか	以上を解消することで、自宅での生活を今まで通り継続したいと希望がある。				
一角をとう変えたいか		'			
			1 _	l _	
			1		
1		1		1	

## 住宅改修が必要な理由書

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

活		② ①の具体的な困難な状況(・・なので		対果をチェックした上で、	④ 改修項目(改修箇所)	
動				以炒块口(以炒回川)		
	している生活動作	・・で困っている)を記入してください □			<b>&gt;</b>	
		①服薬の影響で、トイレへ頻繁に行くが、右膝		①L字の手すりを設置することで、便器	☑ 手すりの取付け	
l	□ トイレ出入口の出入	の痛みが強いときがあり、便器からの立ち座り	ようにする	の立ち座り時の膝への負担を軽減す	( ①トイレ(L字の手すり) )	
l	(扉の開閉を含む)	や衣服の着脱時に膝に負担がかかり、より一層	☑ 転倒等の防止、安全の確保	ることができる。また、衣服の着脱時に		
l	☑ 便器からの立ち座り(移乗を含む)	痛みを感じており、動作が不安定な状況。	☑ 動作の安易性の確保	も掴まる場所があることで、動作を安定	/ @+m- hu	
排	☑ 衣服の着脱		☑ 利用者の精神的負担や	させることができる。	( ②玄関手すり )	
泄	□ 排泄時の姿勢保持		不安の軽減			
			1 24 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	4. 18-TU = 111-114. (1	(	
l	□ 後始末		口介護者の負担の軽減	│ V なぜI型手すりではなくL │		
	□ その他( )		□ その他( )	字型手すりが必要なの	(	
				── か理由の明記	, i	
	□ 浴室までの移動		<ul><li>口 できなかったことをできる</li></ul>	12 - TH 02 - 21 HB		
	□ 衣服の着脱		ようにする		/	
	□ 浴室出入口の出入		□ 転倒等の防止、安全の確保		☑ 段差の解消	
	(扉の開閉を含む)		□ 動作の安易性の確保			
入	□ 浴室内での移動(立ち座りを含む)		□ 利用者の精神的負担や		( ③玄関に踏み台を設置 )	
	□ 洗い場での姿勢保持		不安の軽減			
′⊔					(	
	(洗体・先髪含む)		口介護者の負担の軽減			
	□ 浴槽の出入(立ち座りを含む)		□ その他( )		(	
	□ 浴槽内での姿勢保持				, i	
	□ その他( )				□ 引き戸等への扉の取替え	
	口 出入口までの屋内移動	家の玄関に20cmの段差がある。	☑ できなかったことをできる	玄関の段差に対し、	(	
	☑ 上がりかまちの昇降	③3年前の転倒の後遺症と、膝関節症のため	ようにする	③踏み台を設置し、10cmずつの段差にす	/	
	□ 車いす等、装具の着脱	膝は90度まで曲がらないために、床に手を	☑ 転倒等の防止、安全の確保	ることで、昇降時の膝への負担を軽減	,	
١	□ 履物の着脱	ついて這うようにして玄関の昇降を行って	☑ 動作の安易性の確保	する。	)	
/ ሃኑ	□ 出入口の出入		☑ 利用者の精神的負担や		□ 便器の取替え	
出		②掴まる場所があれば、身体を起こした状態で、	不安の軽減	②また、踏み台の高さに合わせて、玄関		
	□ 出入口からの敷地外までの	段差を越えることができるが、現在は掴まる場		に手すりを設置することで、身体を起こ	( )	
	屋外移動		□ その他( )	した状態で玄関の昇降をできるようにし、		
		別がないだめた、床で除を捺るので、痛い。			(	
<u> </u>	口 その他( )			膝への負担を軽減する。		
			ロ できなかったことをできる	7-14 C 44 C 45 C 45 C	口 滑り防止等のための床材の変更	
		添付の写真の撮り方につい	ようにする	改修目的について、番号	(	
		てけ 段美がどれくらいある	□ 転倒等の防止、安全の確保	┃ を付与し、それぞれにつ	, i	
		か分かるように、メジャーを当	口 動作の安易性の確保	いて改修が必要な理由	)	
そ			□ 利用者の精神的負担や	を記載して下さい。	/	
の		てること。事後申請は、踏み	不安の軽減	と記載して下でい。	□ その他	
他の		台が固定されていることが分	□ 介護者の負担の軽減			
の		かるように。(場合によっては	□ その他( )		(	
動		工事途中にも撮影。)				
作					)	
					<u>'</u>	
					1	
					<u>'</u>	